

A photograph of a modern building facade with a grid of windows and colorful decorative elements on the left side.

# 2014年3月期 決算説明会

A photograph of a person in a white lab coat holding a glass flask containing a blue liquid.

**株式会社 T&K TOKA**

T&K TOKA CO., LTD.

2014年5月13日

# 14.3期業績と15.3期予想

# 2014年3月期のトピックス

## 2014年3月期の実績

- 杭華油墨化学有限公司が連結子会社から持分法適用関連会社へ移行
  - 譲渡後の持分比率 50.0% ⇒ 46.67%
  - 第二四半期終了後に、連結子会社から持分法適用関連会社へ移行したため、前期の連結決算には、杭華油墨の通期の数値が算入されておりますが、当期は第二四半期までの数値を算入しているため、売上高から営業利益までの対前期比の数値が大きく変動しておりますので、参考として次のとおり記載しております。
    - 2014年3月期実績(P4)…前期(通期)と当期(第二四半期累計)の差額
    - 2015年3月期の予想(P8)…前期の第二四半期累計
- 省電力UVインキ市場の拡大
  - 印刷市場において省電力型UV照射装置付印刷機導入の増加
- 滋賀事業所の土地購入
  - 生産拠点分散等のために滋賀事業所設立を計画(詳細は13ページ)
- 印刷業界における画期的なパウダーレスインキの開発
  - パウダーレス印刷が困難とされてきた油性枚葉オフセット印刷において、パウダーレス印刷を可能とするインキの開発
- 原材料費について
  - 国外は比較的安定的に推移したが、国内は原料価格が値上がり基調に推移

# 2014年3月期の実績と成果

## 2014年3月期の実績

- 売上高・・・525億56百万円 ▲0.9%  
為替換算時の円転換額で23億83百万円増加  
杭華油墨の影響を排除した場合、全ての製品別で前期比増収
- 営業利益・・・41億41百万円 +13.9%  
増収効果及び販管費率の圧縮による
- 経常利益・・・47億42百万円 +23.4%  
増収効果及び杭華油墨の持分法投資利益3億61百万円を計上
- 当期利益・・・26億47百万円 +31.5%
  - 特別損失・・・4億20百万円 +177.9%
    - 当期 固定資産除却損 1億45百万円
    - 当期 関係会社出資金譲渡損 1億43百万円
    - 当期 チマニートオカ為替差損 67百万円 (前期為替差益92百万円)

# 2014年3月期の実績

## ▶ 連結損益計算書(百万円)

	12.3期	13.3期	14.3期	増減額	増減率	杭華の影響	備考
売上高	48,484	53,042	52,556	▲486	▲0.9%	▲4,711	
売上原価	38,724	41,271	41,034	▲237	▲0.6%	▲3,727	
	( 79.9%)	( 77.8%)	( 78.1%)	( 0.3%)			
売上総利益	9,760	11,770	11,522	▲248	▲2.1%	▲984	
	( 20.1%)	( 22.2%)	( 21.9%)	( ▲0.3%)			
販管費	7,032	8,136	7,380	▲755	▲9.3%	▲716	
	( 14.5%)	( 15.3%)	( 14.0%)	( ▲1.3%)			
営業利益	2,727	3,634	4,141	506	13.9%	▲268	
	( 5.6%)	( 6.9%)	( 7.9%)	( 1.0%)			
経常利益	2,843	3,843	4,742	898	23.4%	60	
	( 5.9%)	( 7.2%)	( 9.0%)	( 1.8%)			
当期利益	1,452	2,013	2,647	633	31.5%	—	
	( 3.0%)	( 3.8%)	( 5.0%)	( 1.2%)			

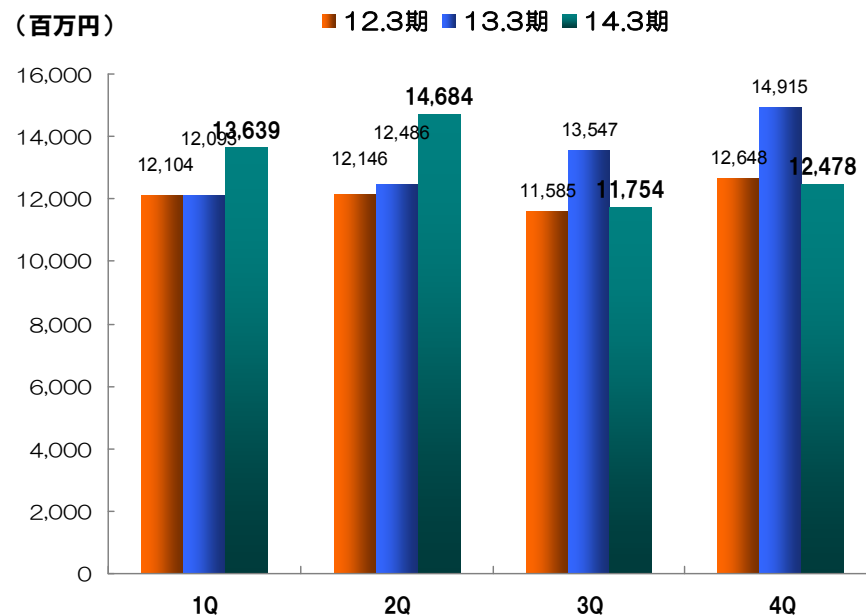
## ▶ 連結製品別売上高(百万円)

	12.3期	13.3期	14.3期	増減額	増減率	杭華の影響	備考
平版インキ	15,518	17,486	16,034	▲1,452	▲8.3%	▲2,322	
UVインキ	20,238	21,081	21,973	892	4.2%	▲1,544	
その他インキ	4,386	6,125	5,749	▲376	▲6.1%	▲537	
その他	3,789	3,602	3,691	88	2.5%	▲215	
製品計	43,933	48,296	47,449	▲847	▲1.8%	▲4,619	
商品	4,550	4,745	5,106	360	7.6%	▲93	
総計	48,484	53,042	52,556	▲486	▲0.9%	▲4,711	

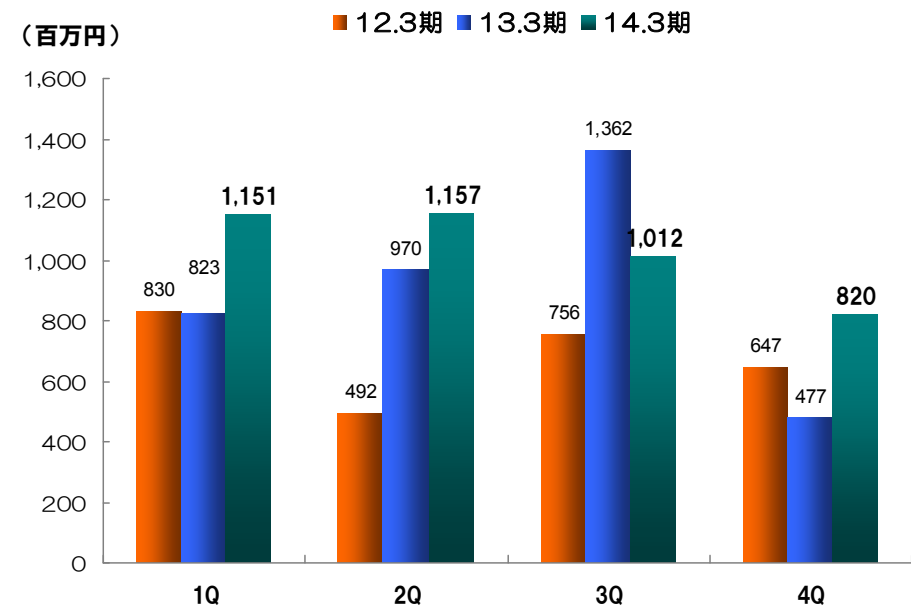
# 四半期ごとの業績推移

- 第3四半期・第4四半期の売上高・営業利益は、杭華油墨化学有限公司が連結子会社から持分法適用関連会社になったため減少

### 【売上高の推移】



### 【営業利益の推移】



# 連結貸借対照表、キャッシュフロー計算書

貸借対照表	12.3期	13.3期	14.3期	増減額	増減率	杭華の影響	備考
流動資産	29,190	33,080	27,599	▲5,481	▲16.6%	▲7,465	
現金及び預金	4,563	6,859	5,496	▲1,363	▲19.9%	▲2,309	
受取手形・売掛金	17,417	19,047	16,124	▲2,922	▲15.3%	▲3,205	
棚卸資産	6,253	6,759	5,436	▲1,323	▲19.6%	▲1,900	
その他	955	413	542	128	31.0%	▲50	
固定資産	20,229	22,278	24,915	2,636	11.8%	▲2,823	
有形固定資産	16,928	18,785	17,397	▲1,388	▲7.4%	▲2,701	
無形固定資産	245	260	268	7	2.9%	▲24	
投資その他の資産	3,055	3,232	7,249	4,017	124.3%	▲96	
資産合計	49,419	55,358	52,514	▲2,844	▲5.1%	▲10,288	
流動負債	14,486	16,756	14,224	▲2,532	▲15.1%	▲2,873	
支払手形・買掛金	10,097	11,013	10,350	▲662	▲6.0%	▲1,807	
短期借入金	1,778	1,589	1,510	▲79	▲5.0%	▲221	
1年内償還の社債	7	7	7	-	-		
固定負債	2,142	2,268	2,080	▲188	▲8.3%	▲12	
社債	43	36	29	▲7	▲19.4%	-	
長期借入金	31	22	-	-	-	-	
退職給付に係る負債	1,106	1,250	1,020	▲229	▲18.4%	-	
役員退職慰労引当金	149	171	20	▲150	▲87.7%	-	
負債合計	16,628	19,025	16,304	▲2,720	▲14.3%	▲2,885	
純資産合計	32,790	36,333	36,210	▲123	▲0.3%	-	
負債・純資産合計	49,419	55,358	52,514	▲2,844	▲5.1%	▲2,885	

キャッシュフロー	12.3期	13.3期	14.3期	増減額	増減率	杭華の影響	備考
営業CF	2,879	5,035	4,883	▲151	▲3.0%		
投資CF	▲3,734	▲2,660	▲5,946	▲3,285	▲123.5%	▲2,854	
財務CF	▲637	▲903	▲825	78	8.7%		
CF期末残高	3,018	4,715	3,259	▲1,459	▲31.0%	▲2,854	

# 2015年3月期予想

## 2015年3月期予想

■売上高……473億円 ▲10.0%

杭華油墨の影響を排除した場合、10億円強の増収  
製品別においても全ての製品別で増収

■営業利益……32億30百万円 ▲22.0%

円安による原材料費の高騰及び販管費の増加による(TOKA単体)

■経常利益……42億円 ▲11.4%

杭華油墨持分法投資利益 +2億58百万円

■当期利益……27億30百万円 +3.1%

前期計上した関係会社出資金譲渡損、杭華油墨・少数株主利益の控除額が  
当期はなくなる

■配当金……上期 普通15円、下期 普通15円 年間合計30円を予想



# 2015年3月期予想

## ▶ 連結損益計算書(百万円)

	13.3期	14.3期	15.3期予	増減額	増減率	杭華の影響	備考
売上高	53,042	52,556	47,300	▲5,256	▲10.0%	▲6,321	
売上原価	41,271	41,034	37,500	▲3,534	▲8.6%	▲4,695	
	( 77.8%)	( 78.1%)	( 79.3%)	( 1.2%)			
売上総利益	11,770	11,522	9,800	▲1,722	▲14.9%	▲1,626	
	( 22.2%)	( 21.9%)	( 20.7%)	( ▲1.2%)			
販管費	8,136	7,380	6,570	▲810	▲11.0%	▲974	
	( 15.3%)	( 14.0%)	( 13.8%)	( ▲0.2%)			
営業利益	3,634	4,141	3,230	▲891	▲22.0%	▲651	
	( 6.9%)	( 7.9%)	( 6.8%)	( ▲1.1%)			
経常利益	3,843	4,742	4,200	▲542	▲11.4%	▲392	
	( 7.2%)	( 9.0%)	( 8.9%)	( ▲0.1%)			
当期利益	2,013	2,647	2,730	82	3.1%	—	
	( 3.8%)	( 5.0%)	( 5.8%)	( 0.8%)			

## ▶ 連結製品別売上高(百万円)

	13.3期	14.3期	15.3期予	増減額	増減率	杭華の影響	備考
平版インキ	17,486	16,034	13,616	▲2,418	▲15.1%	▲2,461	
UVインキ	21,081	21,973	19,802	▲2,171	▲9.9%	▲2,379	
その他インキ	6,125	5,749	4,818	▲931	▲16.2%	▲1,248	
その他	3,602	3,691	3,764	72	2.0%	▲121	
製品計	48,296	47,449	42,000	▲5,449	▲11.5%	▲6,210	
商品	4,745	5,106	5,300	193	▲3.8%	▲110	
総計	53,042	52,556	47,300	▲5,256	▲10.0%	▲6,321	

# 設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

(百万円)

	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期予
設備投資	2,743	1,761	1,472	2,691	2,638	3,855	4,363
減価償却費	1,632	1,931	2,270	2,210	2,120	2,114	1,869
研究開発費	1,261	1,159	1,074	1,101	1,103	1,135	1,230

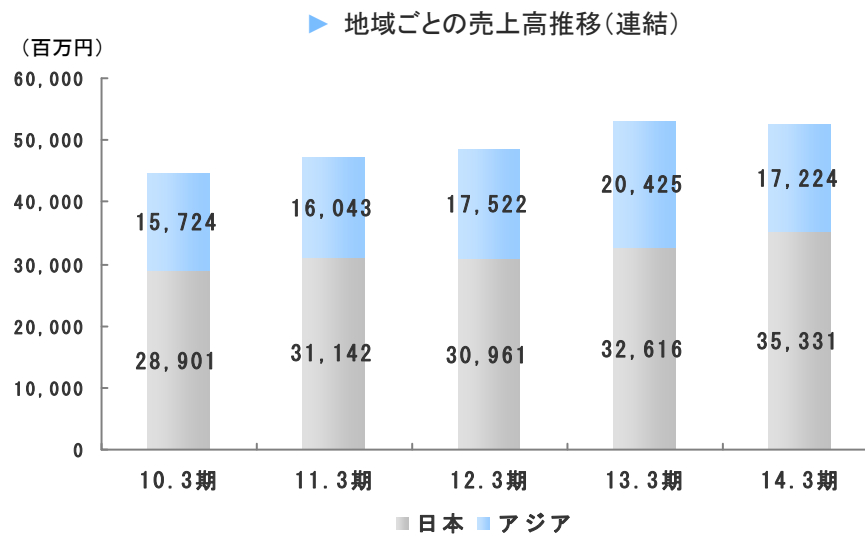
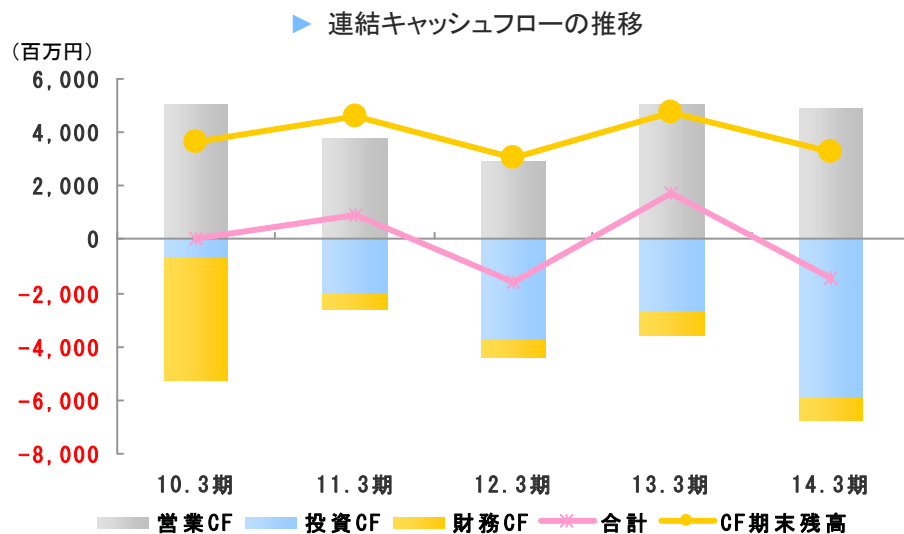
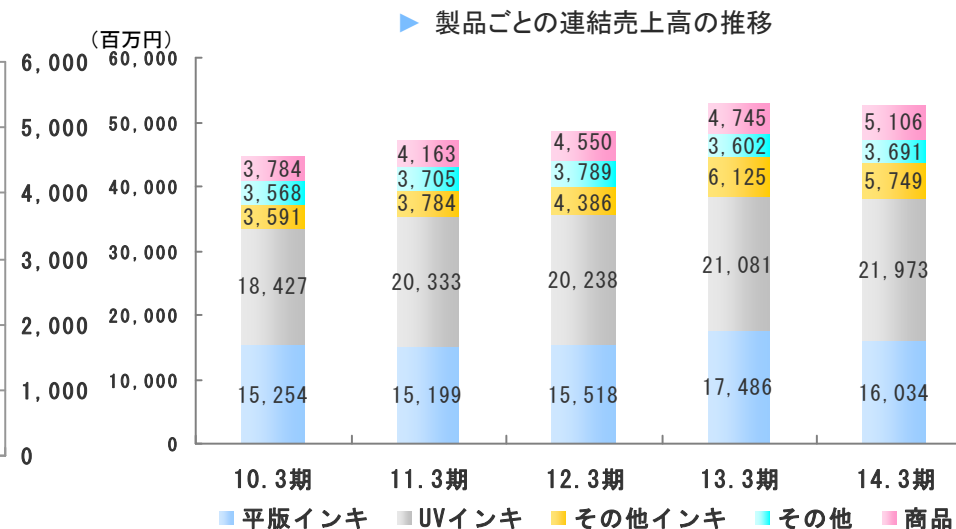
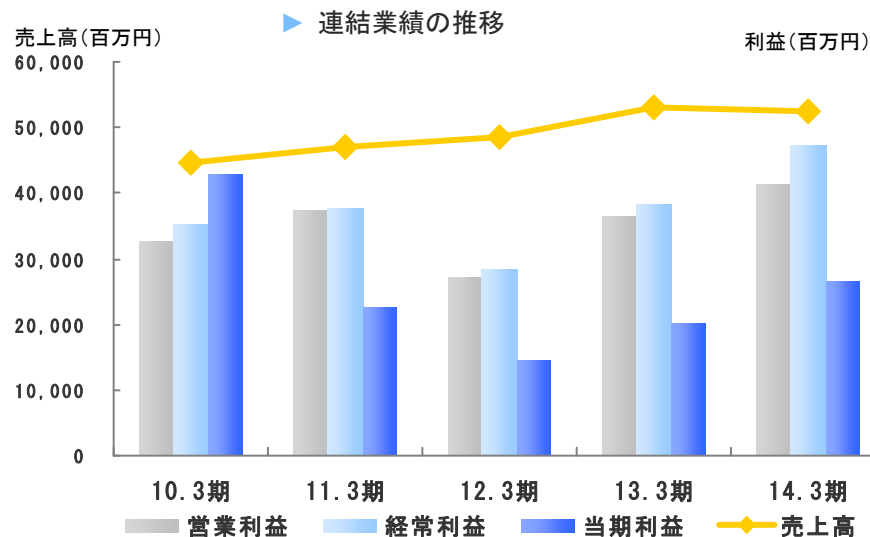
## 【14年3月期設備投資実績】

- 国内 … 34.1億円
  - 滋賀事業所土地 10.4億円
  - 平版・UVインキ生産設備 4.9億円
  - 物流倉庫 4.1億円
  - 福岡支店新社屋 1.8億円
- 海外 … 4.1億円
  - 中国・杭華油墨 3.0億円

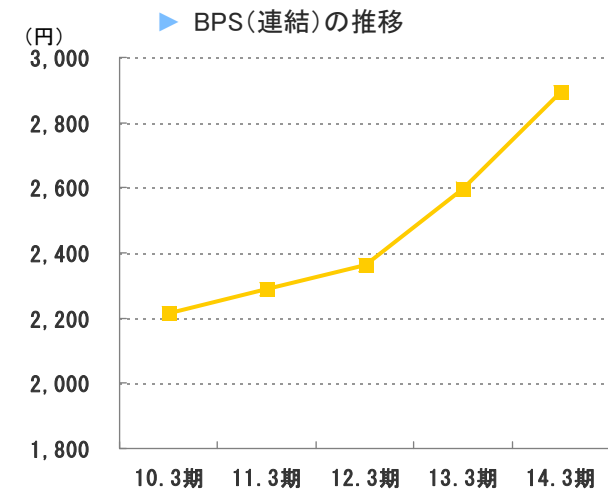
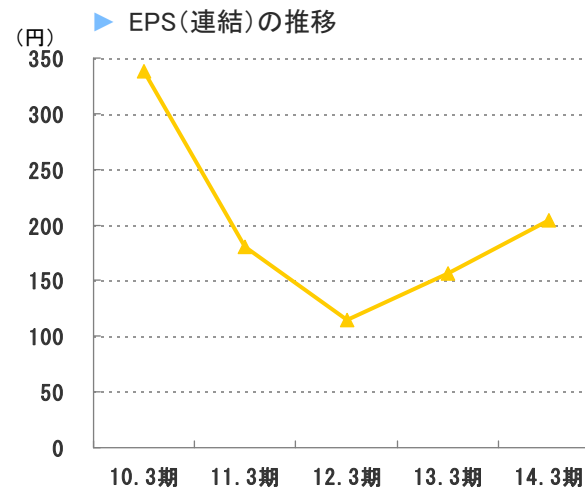
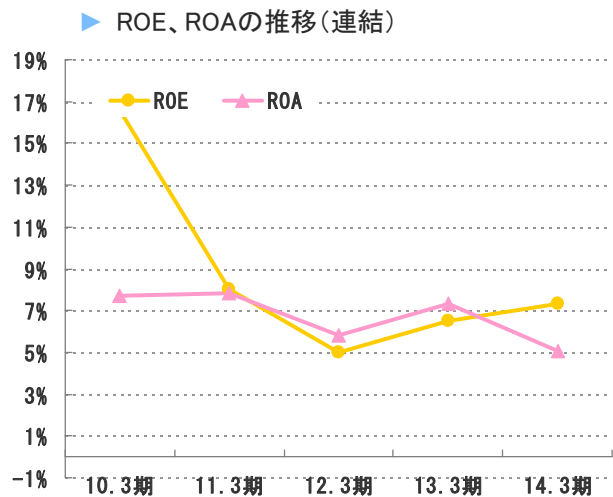
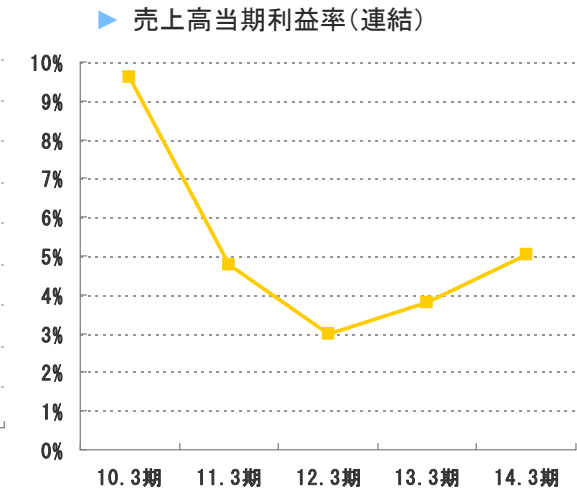
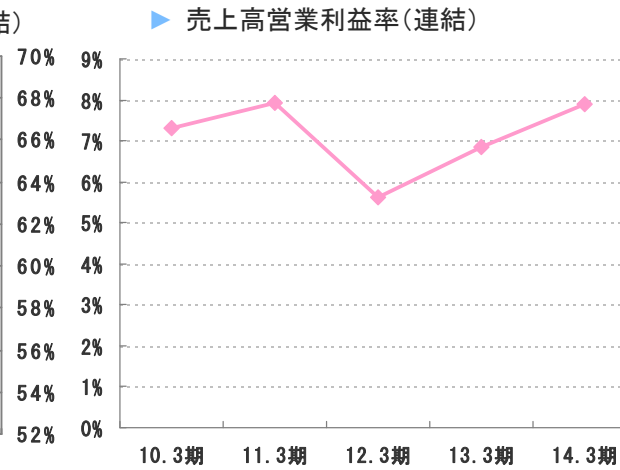
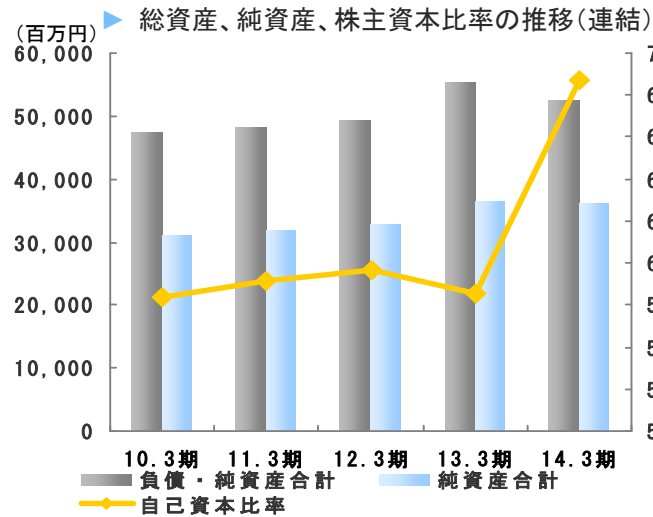
## 【15年3月期設備投資計画】

- 国内 … 43.1億円
  - 滋賀事業所 14.0億円
  - 総合研究棟 6.0億円
  - 物流倉庫 2.9億円
- 海外 … 0.5億円

# 業績推移



# 経営指標



# 2015年3月期の重点課題

## 1)付加価値製品の開発と拡販

- ・ UVインキ……省電力UVインキの品質レベルアップによるシェア拡大
- ・ 枚葉インキ……パウダーレスインキ「ベストワン キレイナ」の積極展開によるシェア拡大
- ・ グラビアインキ……ノトルエングラビアライスインキ「ピクセスライス」の販売強化
- ・ 合成樹脂……水性エポキシ樹脂・硬化剤の拡販および潜在性硬化剤の用途拡大強化

## 2)特殊UVインキの研究および生産体制の強化

- ・ 液晶カラーフィルター向けの製品開発力の向上、および生産性の効率化を実現

## 3)市場の開拓

- ・ UVインキを軸として、アジア、欧米、南米市場を深耕  
当社及び当社グループの力を集結して、高品質の製品を安定供給

# 滋賀事業所計画

滋賀県草津市に総額60億円を投資し、滋賀事業所設立を計画！

【完成予想図】

## 【目的】

- 生産拠点の分散
- 埼玉事業所敷地の有効活用
- 京都支店建設



## 【今後のスケジュール】

滋賀県草津市に土地購入

約10.4億円(2014年3月)

第一期工事 [ 危険物倉庫・一般倉庫完成  
合成樹脂工場完成 ]

約30.0億円(2014年9月～2015年9月予定)

第二期工事 UV工場・京都支店完成

約20.0億円(2016年9月～2017年9月予定)

## ～企業理念～

# Technology & kindness 技術とまごころ

**時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない**

T&K TOKAIは、創業から60数年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は60年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。

時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。



このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

**IRの問合せ先**  
**株式会社 T&K TOKA 財務部**  
**Tel. 03-3963-0511**  
**Mail. toka-ir@tk-toka.co.jp**

**T&K TOKA®**